

和地ひとみレポート No.198

東大和市長、市幹部、市議会代表が国立感染症研究所村山庁舎を見学 感染症研究所の東大和市への影響について確認

■国が国立感染症研究所 村山庁舎を BSL-4 施設に指定

…新聞などの報道でもあった通り、東大和市と隣接する武蔵村山市内にある「国立感染症研究所 村山庁舎」（以下、村山庁舎）（東京都武蔵村山市学園 4-7-1）内の施設が昨年8月、国に「バイオセーフティーレベル（BSL）4」施設として指定されました。今までも、村山庁舎内には BSL-3 施設での研究は行われており、また、村山庁舎内には BSL-4 施設も昭和56年に建設されていたものの、周辺住民への説明が不十分だったため、BSL-4 施設の使用は延期されている状況でした。しかし、昨年8月3日に、塩崎厚生労働大臣と武蔵村山市の藤野市長が会談。村山庁舎の BSL-4 施設の稼働に向け、確認事項を取り交わし、村山庁舎の BSL-4 施設を特定一種病原体等所持施設として国が指定しました。

【厚生労働大臣 確認事項】

- ① 村山庁舎の施設運営は、市民の安全・安心の確保を最優先に対応する。また、災害や事故に備えるため、国として、市や警察等の関係機関とも連携し、周辺住民に対する円滑な連絡や状況説明について、責任を持って対応する体制を構築するほか、このような市との連携も踏まえ、施設及び施設周辺の安全対策や事故・災害対策及び避難対応の強化を進める。
- ② 村山庁舎の BSL-4 施設の使用は、感染者の生命を守るために必要な診断や治療等に関する業務に特化する。なお、制約なく研究目的で使用することに対する地域住民の懸念を払しょくするよう、コミュニケーションを積極的に行いながら BSL-4 施設を使用する。
- ③ 村山庁舎の施設運営の透明性を確保するため、国立感染症研究所村山庁舎施設運営連絡協議会を継続して開催し、施設の使用状況を報告するとともに、施設見学会や説明会も継続的に実施し、積極的な情報開示や地域とのコミュニケーションを推進する。また、村山庁舎の BSL-4 施設運営にあたっては、外部有識者を活用したチェック体制を確保する。
- ④ 施設の老朽化も踏まえ、日本学術会議の提言も参考にし、武蔵村山市以外の適地における BSL-4 施設の確保について検討し、結論を得る。

■東大和市として

…村山庁舎は東大和市内にある施設ではありませんが、危険な病原体を取り扱える施設になったことを受け、隣接する東大和市として、昨年来、情報提供や見学会、説明会への参加を要望してきました。そして、4月28日、東大和市長、副市長、教育長、ならびに関係部署職員4名と、市議会から議長、副議長、議会運営委員会委員長、厚生文教委員会委員長ならびに

副委員長で同施設の見学、説明を聞く機会を得ることができました。私も厚生文教副委員長として参加し、施設の安全性について確認させていただきました。



■国立感染症研究所の役割と村山庁舎の経緯

…そもそも、国立感染症研究所はどのような仕事をしているのかについての説明は以下の通りでした。

- ① 感染症情報の収集と分析
（全国の医療機関から患者さんの情報を収集。そして傾向を解析、分析し対応を決める。また、その情報をわかりやすく公表する）
- ② 検査と診断
（全国の医療機関、衛生研究所などから必要に応じて寄せられた感染症の患者さんの血液や便などを最新の技術で迅速、正確に検査診断。原因を突き止めて対策し、患者さんの診断と治療、流行の防止に役立てる）
- ③ ワクチンの国家検定
（国内外のメーカーで製造され、日本国内で使用されるすべてのワクチンの有効性、安全性を調べ、国立感染症研究所の検査に合格したワクチンだけが国内で使用される。ワクチンは開発時だけでなく、製造ロットごとにすべて同じチェックをする）
- ④ 研究開発
（新しい感染症や大きな流行を防ぐために、集められた情報やサンプルをもとに、日本の中央研究機関として国内外と連携し、研究を進め、研究で開発された技術で一層すすんだ検査診断方法、ワクチンや治療薬の開発に役立てる）

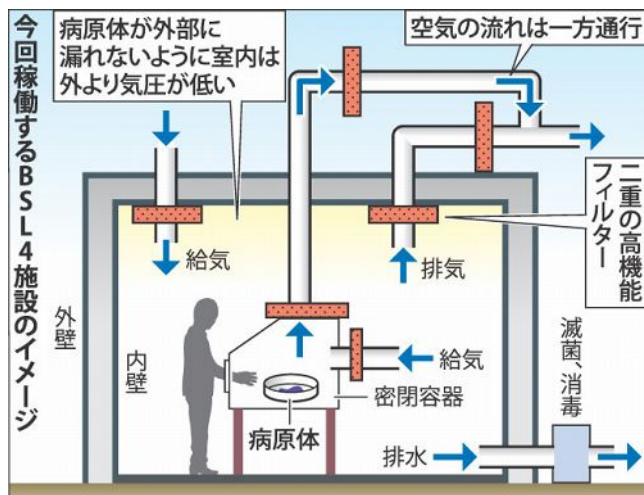
…国立感染症研究所には『戸山庁舎（新宿区戸山）』『村山庁舎（武蔵村山市）』『ハンセン病研究センター（東村山市）』があり、研究を行う医師、事務の約360人が勤務しているとのこと。今回、見学した村山庁舎設立の経緯は、昭和34年に大きな社会問題であったポリオの流行です。当時、ポリオワクチンの試験製造及び検定業務を行う施設、動物舎等の建設が必要となりましたが、当時あった品川庁舎では対応できなかったため、東京都北多摩郡村山町（現：武蔵村山市）の国立村山療養所の所有地の一部に新しくワクチン検定庁舎を建設したことが始まりです。その後は、麻疹、風疹、おたふくかぜワクチンの国家検定を行う庁舎を敷地内に建設し（昭和40年）、昭和46年にはこれらの業務を強化するため分室組織となり、平成17年4月から村山庁舎と呼ばれるようになりました。村山庁舎は歴史も長く、設立から今まで、国内の感染症の予防や治療に大きな役割を担ってきた施設と言えます。（裏面に続く）

■BSL-4 施設とは

…先に述べたように、村山庁舎内には昭和56年にBSL-4施設を設置していましたが村山庁舎は住宅街や学校に隣接し、病原体の漏えいを懸念する一部住民が稼働に反対していたことで稼働していませんでした。その間BSL-4施設は危険度が1ランク低い新型肺炎(SARS)ウイルスなどを扱うBSL-3施設として利用していたとのことです。しかし、有効な治療法がなく、致死率の高いエボラ出血熱など、研究に必要な6種類のウイルスは、BSL-4施設でなければ扱えないこともあり、地元の理解を得て、稼働することとなったとのことです。

…BSL-4施設は危険度の高い病原体(一類感染症)を安全に取り扱うことができるように高度に安全管理された施設で、ウイルスの遺伝子レベルの解析やウイルスの動物への感染実験などはBSL-4施設でなければ出来ません。つまり、万全の感染症対策には不可欠な施設とのことです。現在、世界20か国にBSL-4施設は40施設あり、今回の村山庁舎での利用が認められなければ、G7内でも日本のみBSL-4施設が稼働していない状況だったとのことです。

も研究できるものとのことですが、今回は、病原体の封じ込めレベルがより高いBSL-4施設での研究を決定したとのことです。この研究がスタートすると、施設の見学(一般公開を含む)はできなくなるため、東大和市の見学も4月28日という日程となりました。



■市民の不安に対し

…今回の見学と説明で、BSL-4施設の必要性和安全性は確認できましたが、隣接する東大和市役所にも市民からの不安の声は寄せられている状況です。BSL-4施設は古い施設ですが、耐震性については震度7強まで耐えられるとのこと。また、村山庁舎で扱っているウイルスは空気感染をするものではなく、接触することで感染するもののみとの説明がありました。万が一、施設が壊れ、ウイルスが漏れ出ることがあっても、温度管理がされていない状況ではウイルスは死滅。また、空気感染はないので、この施設からの漏えいで地域住民がウイルスに感染することはないとの説明でした。

…また、地震が発生した際は、直ちに実験をやめ、ウイルスなどの処理を徹底することになっているとの説明がありましたが、深夜帯などでの地震の発生についての対応の説明がなかったため、質問させていただきました。夜間については、必ず職員が常駐しており、大災害の場合も連絡系統に沿って参集することになっているとのことでした。

…漏えいのほかに心配な「不審者の侵入」についても、今回のBSL-4施設認定により警備体制を強化。また、事故や災害対策ならびに避難対応についても地元警察、消防、武蔵村山市の協力を得ながら対応をしているとのことでした。東大和市からは、隣接市として、今後も適時、情報提供を行ってほしい旨を要望。東大和市民の問い合わせに市が対応できる情報を持つことが不安払しょくの基本になることを伝えました。



【厚生労働大臣指定の特定一種病原体等】

- ・南米出血熱ウイルス
- ・ラッサウイルス
- ・エボラ出血熱ウイルス
- ・痘そうウイルス
- ・クリミア・コンゴ出血熱ウイルス
- ・マールブルグウイルス

…村山庁舎では、この5月からBSL-4施設で重症熱性血小板減少症候群ウイルスに感染したサルを使用し、発症予防効果を調べる方針を示しています。これは、3年前に国内で確認され、報道などもされた「マダニ感染症」。西日本で広がり、致死率30%と高いもので治療の開発が求められていたものです。このウイルスは一種病原体より危険度は低く、従来のBSL-3施設で

村山庁舎の一般公開の日程 (国立感染症研究所HPより)

日時:2016年7月30日(土)13:00-17:00(入場は16:30まで)・入場無料

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102